

明治四十三年一月二十四日接獲 警務局長

秘第一六八號 一月二十二日

秘受第 298 號

第一課 原

李人植、行動

李人植、昨二十日午後一時五分外出神田區錦町三丁目電  
車、乗り越所正内幸町、下車、合所一丁目三番地  
胃腸病院、松本君平ヲ訪、午後二時ニ  
十分退出、日比谷公園前より電車、乗り神田駿河  
台下、下車、東明館勸工場、入り、こやつと並、柳  
行、買、午後三時三十分、館より、来訪者、

第8門

以上

REEL No. 1-0866

0280

第3門

新 光

一月二十四日 官署 政務局 附屬書類 第一課

秘受第 308 番

伊藤可雄 陸軍大臣 御影

合邦問題、関心甚大、其情、按、その母、四件、各、向、条考、及、向、送、付、也、

明治三十三年一月二十日

統監、子、等、為、痛、意、也

外務大臣、河野、等、對、其、事、之、即、致

統 監 府

伊藤 可雄

高秘発第七群

隆熙四年一月七日

内部警務局長 松井茂

合邦問題ニ関スル地方状況

京畿道

一進會ノ提唱ニ係ル合邦問題ニ関シ  
今會ノ顧問役トモ見ルヘキ菊池忠三  
郎カ仁川居住ノ親友ニ語りタル一節

本問題ハ遠ク新恢約成立ノ當時ニ在  
リテ内田良平ガ宋秉峻ニ諮リタルニ  
今人ノ獨眼早クモ合併ノ已ムベカラサ  
ルヲ着破シ居リシモノ、如ク而テ之ヲ  
李容九ニ傳ヘ今會ヲシテ提議セシム  
ヘク勧誘アリタリトノ事ニテ内田ハ李  
ニ對シ合邦ノ早晚實現セラルヘキ機  
ルヲ諄々トシテ説ク所アリシニ李ハ事  
重大ニシテ十分熟慮ノ上確答スヘキ  
コトヲ以テテ爾來本問題ヲ攻究レ為  
メニ煩悶憂愁病ヲナシタルコトニ再キ  
ラサリシ其後韓国ノ時事曰ニ非ニレテ

合併ノ機近通シ来レルヲ看取ニタル李  
ハ若シ日本政府ヨリ合併セラル、キハ建  
國ノ歴史ヲ尊崇セル数十万ノ反対者  
ハ五十所ニ蜂起シ如何ナル暴挙ヲ企ツ  
ルヤ保シ難ク寧ロ身ヲ鋒鏑ニ殞スヘキヲ  
豫期シ且合併セラル、トキハ皇室ノ存  
在ニ関シ痛心シ自ラ進シテ合邦ヲ提唱  
シ皇室ノ安全ヲ謀リ民心ノ擾乱ヲ未  
免ニ防遏スルノ手段トシテ今回ノ挙ニ出  
タルモノト云フ而シテ李ハ本問題提出ニ  
付テハ既ニ死ヲ決シ若シ問題ノ不結果  
ニ終ラシカ毒ヲ仰イテ死スル宇乎タル決

心アリト傳ヘラル云々

平安南道

十二月二十五日耶蘓誕生日ニ於テ鎮南浦  
耶蘓三崇各校附属教會堂ニ於テ職  
員生徒及一般ノ信徒集合シ祝賀式ヲ  
挙ケタル後校長及學監ノ演説アリ學  
監斐亨湜演説ノ要旨ハ韓國ハ瀕死ノ病  
人ノ如シ漸々死ニ向ヒツ、アリ名義ハ日  
本ノ保護ノ下ニアリト云フモ實質ハ屬  
國ノ待遇ナリ韓人タルノ精神モ亦時  
勢ト共ニ忘却シツ、アルノ感アリ一進  
會ハ合邦ヲ提唱シ有力ナル兩班等モ之

賛同し来レルノ風アリ我ニハ國勢ノ如何ニ成リ行クモ之ヲ評論スル能ハスト  
虽此韓國民タルコトハ決シテ忘ルベカラ  
ス我々耶蘇教徒ハ宜シク團結ノ精神ヲ保チ神ニ信賴シテ祈リヲ怠ラス我國將來ノ光明ヲ得國ノ独立ヲ期セサルベカラズ云々

平安北道

寧辺公私立學校ニ於テ合邦反對一進會排斥演説ヲナシタルヨリ合地方ニ於テ一進會ヲ嫌フノ情益々其熱度ヲ高メ多少不穩ノ模様アリシニヨリ警戒中

知十二月二十八日地方國民會ト号シ  
儒生崔夢華外百五十名ハ發起者トナ  
リ一月四日寧辺各里ノ代表者ヲ寧辺邑  
内ニ集メ懷議スル為メ一進會長李容九  
カ曰韓合邦ヲ聲明シタルハ君主ヲ凌  
辱シ國權ヲ無視シタル極惡タルモノト  
ス大韓民族ハ他ノ奴隸タルヲ甘受スル  
モノニアラズ由テ昨年一月四日各里ノ  
代表者ハ寧辺邑内ニ會同シ一進會ノ罪  
惡ヲ討シ韓國良民タルヲ明ニセシコト  
ヲ議スヘキニ付來會セヨ云々トノ召集  
狀ヲ發シタリ依テ發起人ヲ所轄警察

署ニ召喚レ取調タルニ發起者崔夢華  
 (附近ニ名望アル) 憤慨ノ言辞ヲ以テ國家ヲ滅亡  
 スヘキ行動アル一進會ヲ排斥スヘク多衆  
 ノ賛同ヲ得バ代表者ヲ上京セシメ逆賊一進  
 會ニ極刑ヲ加ヘラル様當局大臣ニ訴願  
 スルノ決心ナリト陳辨セリ因テ其不穩  
 当ナル言論ヲ戒メ多衆合同ヲナサハル  
 様又覆訓諭スルモ彼ハ只管悲憤ノ体  
 度ヲ以テ是非トモ其罪ヲ問ハガハルベカラ  
 ズト主張シ頑トシテ應セズ遂ニ午後四時ヨ  
 リ翌午前二時ニ至ル十時間ニ亘リ或ハ論シ  
 或ハ叱シ訓諭シタル結果漸ク穏和ノ体  
 度ニ復シ大會ヲナスコトヲ中止スベク  
 確答シタルモ民意ノアル所ハ其筋ニ訴  
 願スベク主張シタリト  
 右及 候也

高秘發第一六號

隆熙四年一月八日

内部警務局長 松井茂

合邦問題ニ関スル件

平安北道

一、寧邊ニ於ケル一進會排斥運動ニ関シ崔  
夢華等が發起セル國民會ヲ禁止セシ件ハ  
既報ノ如シ然ルニ本月三日寧邊市日ヲ利  
用シ各面里ヨリ約四百余名ヲ召集シ國民大

會ヲ開催スヘキコトヲ所轄警察署へ届出タ

リ  
依テ發起人崔夢華、韓忠燁ヲ警察署ニ召  
喚シ曾テ訓諭シタルニ係ハラス多衆ヲ集メ  
不穩ノ行動ヲナスノ不都合ヲ責メ嚴戒シ  
、アリシ際午後二時既ニ普通學校門前ニ於  
テ國民大會ノ旗ヲ建テ演説ヲ開始セリ  
茲ニ於テ署長ハ現場ニ出張シ演説ヲ中止  
セシメ會ノ主幹者タル趙亮均、崔夢華、韓  
忠燁、林寬俊、金洙喆等ヲ學校内ノ一室ニ  
テ取調タルニ國民ノ憤激ハ制シ難ク別紙(才  
一)ノ如キ順序ニ演説議決ヲナスコトヲ主

張セリ

然ルニ其文字穩當ヲ欠キ一般ヲ煽動スルモノト認メ之レヲ領置シ且演説及議決ヲナスコトヲ禁止シタルニ發起人ハ一進會ノ声明書ニ二十萬國民ヲ代表シ云々トアルモ當國民會ニテハ合意シタルモノニアラサルコトヲ声明シタレト陳述セルニヨリ穩ニ會衆ニ其旨ヲ傳ヘ直チニ退散スヘキコトヲ諭シ發起人總代ヨリ之ヲ會衆ニ傳ヘ午後三時退散シタリ此時會衆中各生ラレキ者盛ニ演説ヲナセヨト呼ヒ又ハ一進會ヲ攻撃セヨト呼フモノアリ又ハ自ラ進ニテ演説セントスルモノアリ稍々

不穩ノ狀況アリシモ憲兵ノ協力及發起人等ニ解散ヲ呼ビタル為メ無事退散スルヲ得タリ

一、今日午後十時發起人等ハ寧辺邑内倉下里吉信玉方ニ集合シ李容九罪惡ヲ詳述ニ政府ノ処分ヲ仰ク旨上申書ヲ提スベク密議シタリ

翌四日午前十時再ヒ前記産夢華等五名ハ吉信玉方ニ會合シ別紙(カニ号)ノ如キ上申書ヲ起草シ總理大臣宛郵便シ一通ハ大韓毎日申報ニ廣告スル為メ郵送セリ  
今回ノ大會ニ狂熱ニ極力奔走シタルモノハ



私立維新學校教師金洙喆ナル者ニレテ今  
人ハ平壤居住ノモノニシテ日本ニ留存シタ  
ルコトアリ

一、本月三日ノ國民會ニ參列スベク平安南道价  
川郡及寧辺郡各面各校ノ任負及主ナル生  
徒ハ寧辺維進各校終業證書授與式ニ參列  
ノ名義ニテ本月一日寧辺ニ集リタルモ署長  
及郡守ノ嚴訓ニヨリ開會前夫々歸郷セリ  
學校教師及生徒カ往々主動者トナリ一般  
ヲ煽動スルノ狀況アリ

### 咸鏡南道

惠山鎮地方ニテハ左ノ風評ヲナスモノアリ

一進會及耶蕪教徒ハ實ニ韓国ヲ騷擾スル  
害物ナリ國民ハ二十年來之カ為メ慘害  
ヲ蒙リタルコト少カラズ今又曰韓合邦説  
ヲ唱ヘ國民ヲ攪亂セントス本問題ニ付テハ  
他ニ反對ノ意見ヲ有スルモノ多ク此等ノ徒  
ハ必スヤ一進會ト衝突ニ暴徒ハ此機ニ乘  
シテ蜂起シ一昨年ノ如キ騷擾ヲ惹起スル  
ニ至ルベク故ニ今ヨリ露領若シハ清國地ニ  
移轉シ慘害ヲ免ルニ如カス云々ト

右及  
候也

一 第一号 國民會趣旨書

今日本國民會發起ノ趣旨ハ吾一般韓國臣民タル者ノ國民資格ヲ確守スルヲ以テ目的トス凡ソ國民トナリ其資格ヲ守ラサルニ於テハ徒ニ本國家ノ乱臣賊子タルノミナラス世界ノ公賊トナリ世界ノ公論ヲ以テ声討スベキナリ嗚呼痛哉彼至凶極悪ナル李容九宋秉畯輩三千里ノ江山ヲ攀テ洪水ニ泛ベ同胞ヲ駈リテ烈火ニ投セリ是レ實ニ罪惡天地ニ盈ツ帝ニ吾國家ノ罪人タルノミナラズ誠ニ世界ノ公賊ナリ世界ニ公理無クハ即チ已ム若シ公理有ラバ國ハ國ヨリ声討シ世界ハ世界ヨリ之ヲ声討スベシ

之ヲ討セサルニ於テハ其惡愈々甚シカレベシ故ヲ以テ此輩ノ凶惡ニ對シテハ皇室政府之ヲ討テ中外遠近ノ共ニ討ツ所以ナリ惟フニ我一般國民ハ各々其忠憤ヲ発シテ大声討ヲ加フベシ

李容九ノ聲討スベキ罪目左ノ如シ  
一、國家ノ常典ヲ無視シ宗廟及尊嚴ノ地ニ  
危害ヲ謀タル事

之ハ刑法百九十条ノ反逆律、  
絞罪ニ處スベシ

二、外國情勢ノ抔ル所無キモノヲ將ヒテ本國ヲ  
恐動セシメタル事

之ハ刑法二百条ノ  
圍榷壞損律ニ照シ絞罪ニ處スベシ

三、書ヲ以テ民ヲ誣ヒ人ヲ欺キ財ヲ騙セシメ  
之ハ刑法強盜律ニ処スヘシ

四、無罪ノ良民及愚昧者ヲ誘引シテ死地ニ陷

レシメタリ

之ハ故殺人律ニ依リ絞罪

五、我ニ于テ國民ノ代表ト自称詐冒シタル事

之ハ刑法三百八十一条ニ依リ偽造律ニ処スベシ  
未施行者ハ一等ヲ減スベシ

一、吾會中ニ容九ト合者ノ有無ヲ問フ事

二、該人ノ前後行為ヲ説明スル事

三、暗昧ナル一進會員ヲ正直ニ糾セシムル事

人ノ守ルベキ本分ノ真相ヲ說演ス

(カニ号)

平安北道寧邊郡民人等血ヲ含ミテ内閣  
總理大臣閣下ニ哀告ス嗚呼痛哉今日所謂  
一進會長李容九輩ノ我國權ヲ壞損シ我民  
族ヲ屠殺シ我疆土ヲ丘墟スルノ至凶極悪ナル  
前方古豈曾テ此レ有ランヤ後方々世豈復タ  
此レ有ランヤ厥ノ罪状ヲ究ムルニ春秋ノ義ヲ  
以テ之ヲ按スレハ即チ是レ乱臣賊子人々之ヲ  
即誅スルノ罪人ナリ現行刑法ヲ以テ之ヲ誅セ  
ハ其謀逆未遂犯トシテ絞ニ処スルノ律ニ該當  
ス各會ノ長書忠告當ニ數度ノミナラス個  
人ノ司法請裁亦已ニ久シ然モ尚ホ如何ノ勘

慮無ク中外人民ノ激憤發スル所訝惑甚ク茲レ  
敢テ人々得誅ノ義ヲ得テ茲ニ奔声泣告ス伏  
テ願クハ閣下ハ亟カニ處分ヲ下シ一進會ハ即チ  
解散ヲ命ジ巨魁李容九宋秉畷ハ亦常刑ニ処  
シ此人民ヲレテ声討ノ大義ヲ伸フルヲ得ルヲ  
得セシメラレシコトヲ千万祈懇ス

隆熙四年一月四日

平安北道寧邊郡人民代表者

趙亮均

内閣總理大臣署理 朴奔純閣下

高秘收第六辨ノ一  
隆熙四年一月八日  
内部警務局長松井茂

合邦問題ニ関スル追報  
本月一日高秘発辨外合邦問題ニ関スル  
各道警察署別報告全羅北道各警察署  
ニ属スルモノ別紙ノ如シ  
右及候也

全羅北道

全州警察署管内

一、十二月三日全州新報ノ号外ニヨリ一進會カ日韓合邦ノ請願書ヲ提出シタリトノ事ヲ知得シタル民衆ハ曾テ伊藤公ノ遭難以來之カ反對ハ必スヤ統監政策ノ上ニ現出スルニ至ルナラント杞憂ノ念ヲ懷キ居リタル折柄ナレハ一層ノ感動ヲ受ケタルモノ、如ク殊ニ一進會ニ對シテハ深ク憎悪ノ念ヲ惹起シタルノ觀アリ要スルニ本問題ニ對シテハ不快ノ念ヲ抱キ合邦ノ不成功ヲ希望シ居ルノ状況ナリ

一、全州一進會支部長ハ十二月八日各支會長及侍天教長ヲ召集シタルモ會スル者四名ニシテ之ニ對シ一進會カ合邦ヲ宣言シタル趣旨ヲ概述シ猶ホ一般民心ノ動搖ニ注意スルコトヲ以テセリ  
 以上ノ外特記スヘキ事項ナク不穩ノ言動ヲ為スモノナシ

右阜警察署管内

一、兩班儒生等ノ間ニ於テハ頗ル杞憂ヲ抱キ一進會ノ此舉ニ對シ絶対ニ反對ノ意ヲ漏シ居ルモ其内稍々事理ヲ解スル者ニアリテハ該声明書ノ記事一々適切ノ文言

ニシテ過去ニ於ケル日本ノ誠意ヲ自覺セサルノ致ス所ナリ日本政府ニシテ若シ合邦ノ意アリトセハ止ムナキモノトシ只歎息ヲ為スニ過サルモノアリ

一、大韓懷會負中合邦反對説ヲ唱フルモノ多キモ今會本部ハ對合邦問題方針ヲ決定シテ更ニ通知スル迄ハ此際輕舉ニ出テサルヘキコトヲ以テ各支會ヲ戒メタルニヨリ今會負ハ目下極メテ沈黙ヲ守リ居レリ

以上ノ外何等異状ヲ認メス  
錦山警察署管内

一、今日迄何等注目ニ價スヘキ行動ナシ

南原警察署管内

一、合邦問題ニ関シテハ新聞購讀者并ニ二三有力者ノ知レル外一般人民ニ於テハ未タ周知セズ其知得セル者ト雖此一進會カ如何ニ活動スルトモ日本ハ之ヲ歡迎セサルヘク目的ヲ貫徹スルハ不能ノ事ナリト冷評ニ一般民心冷靜ナリ

群山警察署管内

一、一般ニ周知セラレス郡守以下ノ官吏其他新聞購讀者等偶々之ヲ知ルモ深キ注意ヲ拂ハス一種ノ好奇心ヲ以テ其

一、成行ヲ觀望シ居ルモノ、如シ  
 大韓協會支部其他多少ノ政治思想ヲ  
 有スル兩班儒生ハ免角ノ評論ヲ為スモ  
 ノ多ク上流社會中現内閣ニ親戚其他  
 職務上ノ賞縁ヲ有スルニ三者ヲ除キ  
 シル外ハ何レモ本問題ヲ以テ國家存亡  
 ニ関スル重大問題トナシ杞憂シ居ルモ  
 時局ヲ云為スルニ於テハ災厄ノ身ニ及  
 ハシコトヲ憂慮シ口ヲ禁スルモノ、如シ  
 但シ一進會ノ举措ヲ無謀ナリトシテ罵  
 倒シ賣國奴ナリト激諾スルモノアリ然  
 レトモ未タ輿論ヲ動カスノ勢カナシ

一、群山ニテ最モ勢カアル前参判趙秉承權  
 鐘振儒生金光濟等ハ曰ク合邦ハ國家  
 ノ大問題ナルヲ以テ一進會獨力ニテ成  
 効スヘキニアラス然ルニ國民中十中ノ  
 九ハ不合意ナルヲ以テ到底成立セサル  
 ベシ云々

一、中流者ノ感想ハ一定セズト雖此國家ノ  
 存亡ニ就テハ関和スル所ニアラズトスル  
 モ、如ク衣食住ヲ得ルノ途ヲ失フレハ  
 足レリ然ルニ合邦ノ結果我蒙昧ナル合  
 邦國民ハ到底銳敏ナル日本人ト競争  
 場裡ニ立ツ能ハスレテ百般ノ利益ハ日



本人ノ為メニ壟斷セラル、ニ至ラン現ニ既  
往ノ經驗ヲ以テスルモ之ヲ証スルヲ得ベ  
シ吾人ハ生活上不良ナル影響ヲ受ケサル  
ニ於テハ其合邦タルト僞國タルトハ問フ所  
ニアラサルナリト  
一、暴徒ノ未ダ全滅セガルニ際シ日韓合邦ハ更  
テ暴徒ヲ増加スルノ動機タルヲ免カレスト  
杞憂スルモノアリ  
以上ノ状況ニシテ住民中十分ノ九ハ未ダ本  
問題ヲ詳知セス西班牙儒生中ニハ一進會ノ  
宣言ニ憤慨セルモノアリト虽此多クハ何等ノ  
影響ナキモノ、如ク頗ル平穩ノ状態ナリ

高秘發第四九號

隆熙四年一月十五日

内部警務局長松井茂

合邦問題ニ関スル其後ノ狀況

京畿道

水原郡居金宗漢ハ日韓合邦モ大執力  
既ニ定マリ今如何トモ為シ能ハサルモ韓  
國民トシテ空シク黙過スルニ忍ヒス然レトモ  
意見ヲ發表センカ言辭激越ニ亘リ日本

官憲ノ怒ニ觸レ縲紲ノ辱ヲ受クルナレト  
セス故ニ時局ニ對シテハ緘黙ヲ守リ居ルノ  
ニ合邦問題ハ一進會ノ提唱ノ如シト云  
モ裏面ニハ日本政府ナル傀儡師アリテ李  
容九宋秉畷ヲ操縦スルモノタリ傀儡  
師タル日本政府ハ貪婪強慾飽クヲ知  
ラス曾テ清ノ屬邦當時ハ政府人民平穩  
ニレテ暴徒ハ起ラス物價ハ安値所謂國  
家泰平ノ兆アリキ今ニレテ思フニ日本カ  
獨立セシムト稱シ清國トノ關係ヲ絶タシメ  
タルハ却テ韓國ヲ亡ス手段ナリシナリ  
日本果シテ韓國ヲ獨立セシムルノ意アラハ

我國母ヲ殺害スルノ理ナシ後日本ハ愈々面  
ヲ脱シ韓國ヲ保護國トシ多額ノ金貨ヲ  
貸付シタリト唱ヒテハ彼レ自ラ之レヲ費消シ  
同胞ノ得ル所僅ニ三分ノ一ニダモ過キス合  
邦問題ヲ彼ノ一進會ナル本偶ニ提唱セシ  
ムルハ列國干渉ノ萬一ニ備フルモノナリ即  
チ傀儡師ハ一度干渉ニ遭遇セハ韓民舉  
テ合邦ヲ絶叫セルモノナリトシ巧ニ韓國  
ヲ併吞セントスルモノナリ要スルニ日本ハ韓  
臣ヲ樹梢ニ登ラシメ動搖シテ地上ニ墮  
落トシ至ラシメントスルモノニシテ如斯日本  
ニ師事スルハ堪ユル處ニアラスニ千萬同胞

カ排日行動ヲ為スハ當然ナリ真ニ同胞  
カ苦悶ノ窮境ニアルヲ悲マサルヲ得ス云々  
ト語り悵然久フシタリト又富平郡要視  
察人任章悖ハ一進會ノ合邦提唱後  
既ニ二月ヲ經ルモ毫モ變化ナシ有識  
者ノ多數ハ内心孰レモ合邦セラルヘシトノ  
感想ヲ抱ケリ思フニ韓國ノ現状ハ名アル  
モ實ナク皇帝上ニアルモ皇威下ニ行ハレス  
七國ト莫モ撰ブ所ナシ日本ハ委任名  
義ノ下ニ既ニ司法權ヲ奪ヒタリ是恰モ  
人休ヨリ手足ヲ奪ヒタルト同シク萬事日  
本ノ意思如何ニ決シ陸上一兵ナク海上艦

ナク何ヲ以テカ之ヲ拒ムヘケンヤ徒ラニ口舌ヲ  
榮スルモ何等ノ實ナシ合邦ハ遂ニ止ムヘカラ  
サルニ至ルヘシト語り又同郡上吾丁面長金  
璉鉉ハ合邦問題モ大韓協會及國民ノ  
反對ニ依リ消滅ノ姿トナリタルハ實ニ韓國  
民ノ幸福ナリ合邦ナルモノハ韓國ノ亡滅ナシ  
ハ韓國民全部ノ死亡セルト同一ナリ云々ト又  
同郡守鄭雲衢ハ曾禰統監ノ歸朝ハ  
長谷川大將ト交替セシカ為ナリ若シ大將  
統監トナラムカ合邦ヲ断行スルヤ必セリ實  
ニ曾禰統監ノ歸朝ハ合邦問題ノ解決  
ニアリト認ムヘシト又仁川府内ニ於ケル重ナル

者ノ説ニ依レハ韓國現下ノ状態ヨリセハ合  
邦モ亦止ムヲ得サルヘシ然レトモ彼ノ一進會  
ノ唱導スルカ如ク寸時ヲ争フ要アル問題チ  
リヤ否ハ須ク講究ヲ要ス今日ノ場合ハ  
宜シク現状ヲ維持シ統監政治ノ普及  
ヲ圖ルニアリ而モ尚其實ヲ舉ケル能ハサルノ  
障害ニ遭遇シテ初メテ合邦ヲ遂行スルハ  
可ナリ苟モ急遽ノ事ヲ為サンカ徒ラニ不測  
ノ禍乱ヲ醸成スルニ過キサルヘシ云々ト云フ  
ニアリト而シテ近時合邦ニ對スル韓人間ノ  
感想卷説ハ逐日其聲ヲ潜メ今ハ殆ント  
之ニ言及スル者ナク頗ル平静ノ状アリト云フ

慶尚南道

河東郡大韓協會支會會長ハ郡内會員ニ別紙(第一号)譯文、如キ檄文ヲ配布シタルヲ以テ之ヲ禁止セリ

江原道

鐵原邑居趙鐘大ハ(耶獲教徒ニシテ目下認可申請中ニ係ル培英學校長ナリ)大韓毎日申報支社長ト稱シ同地普通學校副訓導人金明濟同朴榮喜及學務委員ニシテ富直家ナル姜大汝李鳳正雜貨商ニシテ金昌胤等ト團結シ合邦反對演說會ヲ京城ニ開催シ一進會一派ヲ攻

撃セント疑議セシモ更ニ合邦反對決議書ヲ發表スルコトニ決シ金明濟起草シ學校教員面長里長等約二百名ニ調印セシメ客月廿日頃在京城耶獲傳道師全德基ニ發送シタリト云フ本件ハ警視廳へ取調方移牒セリ

黄海道

海州地方韓人(大韓協會員無籍士學校)ハ合邦問題ニ反對シ國民大會ニ百十九名ノ調印アル別紙(第二号)ノ書面ヲ發送セリ而シテ一般民モ一進會ノ合邦宣言ニ干シテハ激昂シ居ル狀況ナルカ客月二

十七日安岳郡細洞面、路傍ニ別紙(第三号)ノ書面ヲ貼付シタルモノアリ又本月六日忠清南道藍浦郡郷校直負ヨリ海州郡郷校直負吳憲泳ヘ對シ別紙(第四号)ノ書面ヲ送付シ來レリ依テ所轄警察署ニテハ目下ノ形勢上他人ニ見聞セシムヘカラサルコトヲ説諭セリト

平安北道

義州郡楊西面揭示臺ヘ別紙(第五号)ノ檄文ヲ貼付シタルモノアリ其何人ナルヤ判明セス現ニ調査中ナリ

咸鏡北道

各地ノ政黨支部又ハ之レカ關係者ハ自黨ノ勢力扶殖ニ努メツ、アリ觀察使尹甲炳ノ如キハ全力ヲ擧ケテ一進會ノ勢力擴張ニ努メ會ト共ニ一身ヲ浮沈スルノ覺悟ヲ以テ活動シツ、アリ客月二十七日ノ如キ午後六時ヨリ夜半迄自己ノ官舎ニ侍天教鏡城支會會長韓景昊及一進會有力者金溶郁兼ニ地方兩班儒生ニシテ名望アル者十五名ヲ集メ一進會ノ執ルヘキ方針ヲ聲明シ合邦問題ニ盡力スヘキコトヲ勸誘シタルニ集會セル兩班儒生等ハ其勸誘ニ從ヒ各自郷黨ヲ提ケテ一進

會ニ入會、約成リタリト又大韓協會モ  
一進會ニ讓ラサル運動ヲ講セントスルモノ、  
如シ要スルニ全ク衰微振ハサリシ一進會  
モ合邦問題以來觀察使尹甲炳ノ治  
勳ニヨリ勢力ヲ恢復シツ、アリト云フ  
右及候也

第一號

地方同胞ニ敬告ス

敬啓 東西古今自亡自滅、類無倫無義、  
輩何ハ限有リ然レモ今日一進會、如  
キ極凶極惡ノ者有リヤ東海ノ水南山ノ竹  
ヲ以テスルモ其ノ罪ヲ書シ難シ乙巳、年  
立條約ヲ歡迎シ丁未、年七協約ヲ締  
結シ又往年大駕西巡、時玉輅咫尺ニ詔  
酒拔釵シテ不敬ヲ敢テシタルハ彼輩  
ニアラズシテ誰カヤ且ツ今日餘存セル  
ハ大韓ト名ヅル一室、殺ノミナリニ此室  
殺子遺獲キヲ以テ奉獻セシトシ敢テ  
二千五國民ノ代表ナリト冒稱シ大逆

不道ナル李容九等ノ妖魔鬼等韓日  
合邦ハ皇ト至テ尊山崇シ民福ヲ増進  
スルモノコシテ今等ノ國權ヲ得ルモノナリ  
ト稱シ所謂合邦上疏文及長書ニ妖論  
魔鬼等ヲ擧テ聲名ヲ發シタリ嗚呼  
國民ヨ之ヲ聞キシヤ聞カサリシヤ孔  
子ハ告朔ノ羊モ去ラザリキ況ンヤ此四  
千載保有セル三千里ノ旧國ヲ將ヒテ  
敢テ他國ニ合セシトハ口ニ言ヒ筆ニ  
書スルニ忍ビレヤ斯ノ如キハ寧負ニ古今  
ヲ通ジ東西ヲ貫キ未ダ其ノ一ヲ聞知  
セハルナリ恭漢ノ王莽趙高唐宗ノ



秦檜買倂道ハ他國ノ乱臣古代ノ凶賊  
何ゾ我ノ關スル久有ラレ而モ千載ノ  
下人々之ヲ誅ス況ンヤ自國ヲ將ヒテ屬  
國タルヲ願ヒ同種ヲ駈リテ奴隷タルニ  
甘ズル今日我國ノ逆賊ニ於テヤ實  
カ又論及セン公憤ノ激スル所之ヲ殺  
シ教サツルヤキモ王章自ラ在リ政府  
嚴立ス其凶謀ヲ做出セル幾個輩ノ就  
戮ハ其日立テ埃ツマシ其餘ノ地方會  
負ハ無智無識ナリト虽モ或ハ恥ヲ知  
ルモノ有リ貴面各里ニ若シ一進會  
負アラバ貴面ヨリ善諭解散セシメ

ラレヨ然ル後尚ホ一進會ヲ去ラザレモ  
者ハ我大韓國國民中ノ一歎点ナリ哀  
惜ノコトナレモ國民ト謂フ可ラズ我大  
韓國國民トシテ認定セズ之ト交際ヲ  
絶タレタシ今因ノ凶書ニ因リテ人民中  
或ハ悲觀總シ玉スルモノ有レバケレバ又  
一言ヲ陳ハレトス彼逆賊輩千回万回  
合邦ヲ聲名スルモ日本ハ決シテ之ヲ  
實行セザルハ明ナル事實ナリ日本  
ハ維新以來唯ニ馬関條約対列邦聲  
明書ヲ韓日議定書中ニ累々我獨立  
ヲ認証セルノミナラス日帝開戦ノ詔

勅ニモ韓國ノ疆土ヲ巩固ニスルノ語句  
照トシテ日皇ノ如ク萬國ノ公認スル処  
ニシテ我國民ノ心即口誦シ日本全國  
奉讀欽誦不但ニ兩國ノ然リト為  
甘不在界列疆ノ共ニ聞睹スル所其  
千里望未如乾スレテ金石冷セズ豈  
ニ文明ノ國ヲ以テ信義ヲ棄テ野心ヲ  
逞フスルノ舉アラシヤ萬々此理ナシ  
歎クバ我兄弟姉妹ハ悲觀絶望ニ  
スレテ東西ノ平和ヲ是レ圖レ

隆熙三年十二月二十四日

大韓協會河東支會會長鄭煥武

北面各洞同胞 僉座下

再一面里長ハ此意ヲ以テ各戸ニ説  
諭シタル後坊曲ニ掲布シテ一民  
ト雖モ知ラサル勿ラシムル事

才二号

敬啓、彼一進會ハ國賊ナリ國賊ヲ聲討スルニ於テ  
國ノ人民タルモノ孰カ同情セザランヤ閣下聲  
討ノ義舉ヲ以テ一會ヲ組織シ全國ニ聲討ノ  
義聲ヲ公布ス閣下ノ責任及會ノ義務重大ナ  
ルナミナラス國家ノ存亡此一機ニ在リ惟願クハ  
會員諸公ハ國民ノ倚望ニ負カサランコトヲ血祝  
ス茲ニ賛成諸氏ノ姓名ヲ録シテ送呈シ會案  
ニ特書セラレンコトヲ伏望ス

才三子  
一進會等ヨ汝等亦韓天ヲ載キ韓地ヲ履ム  
人類ナリ如何セハ敢テ二千万代表ト稱シ所謂  
合邦宣言書ヲ妄リニ唱ヘシカ禽獸ニモ及ハ  
サル汝等ニ二千万同胞カ代表ヲ許シタルカ  
一タヒ此言ヲ聞クヤ毛骨竦然、念氣大発ス  
即チ没殺スヘキモ十分容忍シテ大ニ茲ニ警告  
告ヲ與フ速ニ解散スヘシ若シ退會セズンハ  
當ニ滅殺スヘシ汝等モ耳目有ラハ此意ヲ了  
解スヘシ

飲泣涕血書

オ四号

方今日韓ノ勢ハ強弱相懸シ太小敵セス則チ  
日本皇帝ノ英靈ヲ以テ強制ヲ以テセントセ  
ハ固ヨリ平和餘有ルハ一人ノ言ニ非スシテ  
實ニ天下ノ共ニ知ル所ナリ我皇帝陛下ハ  
新ニ寶位ニ登リ善ク強場ニ處セラル我臣  
民日夜憂戴ノ情ハ岐湯風鳴ノ朝ヲ見シコ  
トヲ思ヘハナリ而シテ彼一進會ハ何ノ腸  
肚ヲ以テカ禍敗ヲ連招シ心ヲ覆巢魚穴ニ決  
シタル乎其魁宋秉峻李容九教輩ノ許多  
凶逆大罪ハ己ニ報館ノ筆鋒ニ誅セラレ又社  
會ノ舌劍ニ誅セラレタルハ天下ノ目同シク  
見ル處、天下ノ耳目同シク聞ク處ノ者ナレハ

必スシモ更陳スルヲ要セス其内閣統臨府ニ  
長書シタル中合邦ノ二字ハ殆ト韓土ニ胚  
胎シタル者ノ言フニ忍ヒサルモノナリ假ニ合邦  
ヲレテ疑ナキノ事トセハ吾君上ニ在リ在臣  
朝ニ在リ儒臣野ニ在リ未格愈咈體禮自ラ  
重シ元ヨリ小輩隸臣ノ敬テ自ラ狂吠スルト  
コロニ非ラス且其合邦果シテ疑フヘキノ  
事トセハ日本皇帝ノ威徳日本官憲ノ規模  
ヲ以テ豈徒ラニ隣國小輩隸臣ノ一片ノ乱言  
ヲ信シテ左契ヲ執リ因テ礼ヲ親睦ノ隣ニ  
矢ヒ笑ヲ天下後世ニ貽スノ理アラシヤ吾  
儒鄒魯ニ生長シ詩禮ニ膾炙シ列聖朝培

養ノ沢ニ薰沐シ諸先輩忠孝ノ風ヲ承襲ス  
出處言默ハ最モ其大節ナリ黙スヘキニ言ヲ  
出スハ不可ナリ言フヘキニ黙スルモ亦不可  
ナリ今一黙シテ邦ヲ喪ヒ一言シテ邦ヲ存ス  
ルノ地ニ當リ以テ出テサル可カラズ以テ言ハ  
サル可カラサルナリ故ニ人微言輕ヲ揆セス  
遽チ疾聲大呼ス伏テ願フ諸公ハ我祖國  
ヲ念フテ益々激勵ヲ加ヘヨ賊臣李容九  
自ラ二千万ノ代表ト称シ上ヲ犯シ悖慢ノ既  
合邦ノ聲明書ノ類ヲ乱作シテ愚ルルヲ知ラス  
隱ニ我ト天ヲ戴リ痛哉我同胞二千万人誰カ  
禹ヲ以テ代表ト爲シタルカ我同胞カ禹ヲ

得テ之ヲ齋セント欲スルモノ凡ソ幾年カ  
我同胞禹ヲ認ムルニ僅隸ノ賤ニ均シク  
禹ヲ視ル腐鼠ノ穢ニ同じ誰カ禹ヲ以テ  
代表ト爲シタル草ヲ去ル者ノ除テ又除シ  
根ヲ尽シテ後チ己ムハ人ヲ傷ケンコトヲ  
恐ルレハナリ且ツ王府ノ関和ハ宜ク嚴シ  
以テスヘシ乱臣賊子ノ如キニ至ワテハ有司ヲ  
待タスシテ人皆得テ之ヲ誅ス唯我三百六郡  
ノ二千万人ハ此賊ヲ赦ス無ク共ニ聲討ヲ  
加ヘ以テ我國家人民ノ恥ヲ雪カンコトヲ  
千萬顛祝ス

隆熙三年陰十一月 日

忠清南道監浦郡校直 尹邦鉉

黃海道海州郷校直負 座下  
此通告文ハ貴道内ノ列郡郷校ニ通告シ各郡  
紳士ニ回覽シテ齊聲共討セシメラレ度此書着次  
筭回答ヲ賜ハラシテ要ス

オ五号

廣告 仔細に見よ

國勢ヲ察スルニ憤慨ニ堪ヘス四千餘年ノ  
 生脉一朝ニシテ敷亡セリ何ノ面目有リテカ  
 檀君箕子ニ見ヘン白頭山下江水昔ニ変ラ  
 サルモ三千里中ニ錦繡ノ衣服無ク愁然  
 トシテ寒雪ヲ冒シ北間島西間島ニ移ル  
 彼ノ全胞ノ足音耳ニ騷レク檀君ノ子孫  
 錢無クシテ落涙スルノ状見ルニ忍ヒス夫ハ  
 妻ノ家ニ往キ妻ハ貧家ニ往ク哀々ハシ天下  
 生別々々、哀々ハシ檀君ノ子孫ヨ、韓國種子  
 ヲ四散シテ食ヲ乞ヒ處々ニ改打セラル  
 嗚呼斯クナラシメタルハ誰ソ一進會ニア

ラサルカ今合邦問題ヲ出ス遠カラスシテ  
 萬物税ヲ出スニ至ラン汝等ヨ骨肉相争  
 フモ程度有リ我活ケハ汝モ亦活ク我死セ  
 ハ汝モ亦死セン汝等ハ何等ノ権力ヲ得何等  
 ノ獵ヲナサレカ為メニ此ノ如キコトヲ為スカ  
 此拳ヲ度ケヨ見ヨ吾兄安重根ハ伊藤ノ  
 頭上ヲ銃殺シ吾兄李在明ハ逆賊大臣ヲ  
 銃殺シタリ獨立ノ日飛フカ如クニ來ラシ  
 雙賊ノ奴一進會ヨ自昏強盜ノ一進會ヨ斯ク  
 セハ斯クナルヘシ

一千九百万同胞  
 拳有リヤ否ヤ



吾汝ニ馳走セントス大韓國民トナラハ如何  
一千九百万名ト演説スヘカラス  
徒ラニ騷擾スヘカラス死セントセハ獨リ死セヨ

REEL No. 1-0866

0312

第3門

明治三十三年二月二十日

乙秘第一六七號

警務局

一月廿四日

秘受第

317

號

李人植ノ行動

昨三日前九時外出東明館(勸業場)ニ至リ人形  
一個ヲ取テ夫レヨリ下谷区上根岸町岡村熊人ヲ訪  
ニ園藝雜誌談午三時廿分既宿四時十分阿部佐  
太郎夫妻二人ノ婦人ヲ伴ヒ來訪五時來訪者ト共  
ニ東京座ニ赴キ手品ヲ觀覽シ十時廿分既宿

以上

伊藤三郎氏及阿部佐太郎

東

25

昭和三十三年二月二十六日發  
警務政局

秘受第  
3  
3  
4  
第

第  
第

第

查

13

REEL No. 1-0866

0314

第  
3  
門

明治三十三年一月二十七日 奉 皇 政 務 局

秘 受 第 346

第一課

外務省

長 官 印

REEL No. 1-0866

0315

第3門

明治四十三年一月二十七日接受 主務 政務局

文策 347

第一課

伊藤子(姓) 雜(姓) 神(姓) 等(姓) 行

甲

長

第3門

明治三十三年二月十八日 横濱 主管 政務局

受第

356

第1課

辨

REEL No. 1-0866

0317

明治三十三年一月二十九日換發 善政務局

乙秘第百六號 一月廿八日

朝鮮問題同志會負合會

本日午後五時ヨリ櫻田俱樂部ニ朝鮮問題同志會  
負

- 服部綾雄 大竹貫一 加瀬禧逸 金尾稜巖
- 小川平吉 三浦逸平 福田和五郎 繁野珠城
- 權藤震二 横矢重道 相島勉次郎 五百木良三
- 大谷誠夫

第3門

外三名會合大谷誠夫ハ韓国ノ状況ニ付左ノ如ク報

告セリ

自分ハ五百木ト共ニ同志會ヲ代表シ韓国ニ到  
リ一進會ハ韓協會、統監府、韓国大臣、在韓本  
邦新聞記者團ヲ訪問シテ合邦問題ニ関シ意  
見ヲ闡ハレタリ(概観ヲ  
叙述ス)記者團ガ内田良平ニ對  
シ悪感ヲ懷クハ内田ガ合邦問題ヲ好餌ニ私利  
ヲ計ルニ基クモノニシテ其結果ハ進一進會ニ及響  
セルヲ看取レ記者團ト進會ノ間ヲ融和レ且同  
志會トモ歩調ヲ同フスバク調停スルコトヲ得タレハ

秘受第 363

第一課

再後ハ相互気脈ヲ合邦ノ遂行ニ努ムルヲ得バ尙  
統監府及韓國当局ノ合邦及對者ヲ記者團ト  
一連ノ言ガ協力邁進スルニ於テハ必ズ中目的ヲ達ス  
ベト信ズマツト述ベ終リニ内田良平ハ合邦問題  
ニ熱心ナルヲ記者團ノ感情モアリ且ツ甚ダ不評判  
ナルハ我ガ同志人々モ彼ヲ排斥モカルベカラズト附言セ  
リ

次ニ五百本ヲ先谷ト大同ノ異ノ報告ヲ爲シ終テ三四  
ノ質問ニ應答シ六時ヲ分散シタリ  
(以上)



明治三十三年一月廿九日

警務局

乙秘二六八號 一月廿九日

李人植ノ行動

廿九日午後六時四十分宿所ヲ出テ附近ノ勸工場東明館ニ赴キ寢衣シヤツ、股引等ヲ購求シ七時十分既宿当日来訪者ナシ

以上

第3門

伊藤...

第一課

367

明治三十三年一月廿九日

警務局

乙秘二五一號 一月廿九日

李人植ノ行動

廿八日午前九時四十分外出下谷区上根山岸三十九番地同村熊人ヲ訪シ十二時五分退出帰宿ス午後十二時五分大垣大夫未前三時十分退出六時十五分外出韓國留學生監督所ニ至リ直ニ退出夫ヨリ四谷区永住町三十八番地音田龍郎方ニ至リ十時十分帰宿十一時十分ニ就寢ス

第一課

369

第一課

第3門

明治四十三年一月三十一日 警務局

秘第三五〇號 一月二十九日

菊地忠三郎ノ行動

日韓電報通信社長菊地忠三郎、内田良平が退韓後  
同人ニ代リ一進會操縦ノ任ニ當リ居リタルが今四季容九  
ノ内傘ヲ銜シ救山茂丸内田良平ト會シ善後策ヲ講  
ゼシガ為ノ帰朝セルモノニシテ着京後一日々板山及内田  
ト會シ懷議ヲ重ネツ、アリ始メ日韓合邦論ヲ起ルヤ一  
時韓國ノ政界ヲ賑ハシタルモ事豫期ト齟齬シ今ヤ  
頗ル窮狀ニ陥リ殊ニ近ク合邦ノ成功ヲ期スルノ見込ナク

第3門

今ヤ一進會ハ土崩瓦解ノ悲境ニ墮シ此後推移モ一進  
會ハ遂ニ暴徒ニ變ズルノ虞ナキニアラス茲ニ於テカ季容  
九ハ要汝タル能ハズシテ菊地シテ其意ヲ齎ラセルモノナル  
が内田ハ此際一先ツ一進會ト絶縁スル方得策ヲラレトノ  
意見ナリシニ杉山ノ抑止スル處トナリ一進會最後ノ手段ト  
シテ合邦論ヲ唱導シタル以來今日迄ノ経過ヲ叙シタル  
意見書ヲ起草シ朝野ノ縉紳ニ頒チ以テ輿勢ヲ挽回  
セシトスルニ決シ目下菊地ノ手ニ於テ起草中ナリ

附記

第一課

秘第 370

東

菊地ニ廿八日訪客ニ對シテ、如ク語リ  
一 自今ニ客ニ九月渡韓ノ上日韓電報通信社ヲ引受テ  
ルモノナリ

一 今回敵朝セシハ國家ノ為メ對韓政策ヲ確定シ且ツ其  
進捗ヲ計ラシガ為メナリ

一 自今等ニ韓國民ノ希望セルヲ好機トシ合邦ノ之ヲ容  
レシコトヲ望ム現ニ滿州鉄道中ニ提議ノ如キアリ將  
来ニ於テ韓國ニ關スル提議ナキヲ保セス是レ今日ニ  
於テ速ニ合邦ノ議ヲ容レハ國ヲシテ興用ノ言議ヲ

為ス能ハザラシムルノ要ヲ見ル

一 韓國ガ愈我ガ版圖ニ收スル以上一韓皇ニ  
帝國皇  
族ノ如キ格ト爲シ日本全國ニ合ノ一アル土地人民ヲ差  
出ス代リニ四ニ五ヤ萬圓ノ世襲財産ヲ与フル位ノコト、  
セハ韓國民ニ決シテ服セザルコトナキヲ信ス現ニ一應會  
ニ勿論負祿高耶蘇教徒ヲ始メ多數ノ國民ニ奉テ合  
邦ヲ希望シツアリ

一 自今ニ大學ヲ出テシ後京濱間ニ在リ一度洋行シ敵朝  
後後藤達相ノ書葉トナリ滿韓露國等ヲ跋渉シ遂

ヲ渡韓スルコトナレリ

一自分用済ニ次芽明ロニモ歸韓スル筈ナルカ此處一  
週間位ニ滞在ノ要アラシカ

以上

菊地が今日迄交通セル重ナル者

杉山茂丸 内田良平 江藤恒策(能率賢人)

倉比明義(丹波記者)

菊地ニ廿七日在京城武田龍之(百四才)馬関大志樓  
宋秉政(九十八才)ノ兩名ニ暗跡電報ヲ捺送セリ

明治三十二年一月一日接獲

警務局

乙秘第290號

一月三日

李人植ノ行動

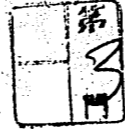
第一課

397

原

原

三十日午前九時四十分外出神田駿河町下ヨリ電  
 車ニ乗リ下谷尾坂本町二丁目ニテ下車同尾上  
 根岸三十九番地廣瀬銀六方寄留岡村熊人  
 ヲ訪問セシモ不在ノ為メ銀六ト共ニ同家ヲ出  
 テ同尾下車坂町三十五番地山石松兼經ナル者方  
 へ行キ少時談話シ居ル所へ岡村熊人モ来會  
 夫ヨリ團基ヲ為シ夕リ午後五時十分同所ヲ辞



ニ下車坂ヨリ電車ニ乗リ駿河町下ニテ下車同時  
 四十分館同七時五分本廊尾淡嘉所河部  
 佐太郎来訪八時廻所尾ノ韓園留學生  
 監督所ノ尹台鏡来訪各々共ニ談話シ同十時  
 十五分兩人退出 李ハ程ナク就山樓セリ

以上

明治四十三年二月三日接受 警務局

し秘第三一六號 二月一日

李人植、行動

一月三十一日午前十一時五十分下谷区上根岸町三十九番地廣  
瀬銀六方全居岡村能人未訪談話午後五時十分岡  
村ヲ送リ置キテ外出シ舞町区中二番町五三韓國商李生監  
督所ニ至リ全六時三十分退出飯館ニ支シヨリ岡村ト其妻ヲ  
周ニ全十時四十五分西人外出志原遊廓ニ至リ全十一時  
五十分京町五丁目貸座敷河内樓ニ登リ本日午前十時  
飯館ニリ

以上

第3門

秘受第409

第一課

明治四十三年二月三日接受

警務局

し秘第三一五號 二月二日

李人植、行動

一日午前十時吉原遊廓ヨリ岡村能人ト飯宿シ全人其  
ヲ周ニ省州外出セズ午後六時岡村ヲ宿ニ残シテ外出シ李  
郷區駒込浅草町阿部流者即方ヲ訪詢シタルモ不在ノ為  
道ニ退出全七時四十五分飯宿シ再ヒ岡村ト其妻ヲ周ニ全  
十時岡村ト共ニ寢ニ就テリ

第3門

秘受第411

第一課

3

昭和十三年二月三日 陸軍省 陸軍部 陸軍事務局

乙秘第三五二號 二月三日

受第 427 第一課

伊予重雄及勝五郎行

朝鮮問題全志會ニ関スル件

（附付）

本日午後二時三十分ヨリ 櫻田俱樂部ニ於テ朝鮮問題  
全志會ヲ開ク出席者ハ 大谷誠夫、五百木良三、権藤震  
ニ、高橋秀臣ノ四名ニシテ、朝鮮問題運動方法ニ関シ  
協議ノ為メ、明四日午後四時ヨリ 櫻田俱樂部ニ常任委  
員會ヲ開ク事トシテ、協定シ、午後三時三十分散會セリ

何事を以て此の如く  
又

明治四十三年二月四日接受 主官 政務局

し 秘第三四六號 二月三日

秘受第422

第一課

李人種ノ行動

二日前夜宿泊せし岡村能人ト朝ヨリ甚ク周ニ午後四時  
四十分ニ岡村ハ辞しましり五時韓國雷李生監督所内  
ノ尹台鎮来訪令々時四十分退去ス六時ニた記ノ書  
面到来ス李ハ今十時五十分就寝セリ

た記

第3門

頃日接于急電到於當時了踏查將有兩三日葉曾  
約之伴時京後欲熱議之老皇若有一日三除来于

當時幸甚々々但雜酒醇而更鮮也惜矣美人可々

今葉縣飯岡町大老館内

劉樓生(老田龍郎)

神田區錦町三ノ一映陽館内

李人種 殿



第3門

三月五日接獲 警務局  
秘第 三六九 號 二月四日

李人植ノ行動

三日午後零時十五分下谷上根岸町三十九番地岡村  
能人來訪團其ノ為ニ午後七時十五分退去セリ  
當日外出セズ全ナ時就寢セリ

伊三郎(譯)及科(譯)ノ為  
第一課  
432  
岡村

明治四十三年二月七日接電

主務 政務局

秘受第

442

第一課

乙秘茅四六號

二月六日

第3門

本人植、行動

五日岡村熊人宿泊シアリテ朝ヨリ田甚中ノ知ノ大垣夫夫

来訪(午前時廿分)談話シ午前十一時四十五分退出岡村

午後五時五分辞去全九時再ヨリ来リ全十一時十分岡村ト共

ト寝ト就ケリ

六日午前九時五十五分宿泊シ居リ先岡村熊人ト共ト外出

神田錦町ヨリ電車ト乗リ土橋停留場ト於テ下車シ

夫レヨリ徒歩新橋停車場ト至リ

小田原行ノ二等乗車券ヲ求メ午前十一時全駅発車ト伴

神奈川県戸部署ノ尾行ヲ継シ為シタリ

以上

明治四十三年二月七日接受

警務局

秘受第 443

第一課

第3門

乙秘第 366 號

二月五日

取

菊池忠三郎既韓ノ件

合邦問題ニ関シ杉山茂九内田良平ニ會見ノ為

メ既朝中ナリシ日韓通信社長菊池忠三郎ハ昨日

午後三時四十分新橋弁既韓ノ途ニ就ケリ

(以上)

明治四十三年二月七日接受

警務局

秘受第 468

第一課

第3門

乙秘第 292 號

二月五日

李人植ノ行動

四日午前九時宿所ヲ出テ佐藤病院(順天堂)ニ到リ十二時

亦分岐宿先是同村熊人來訪李ノ既宿ヲ待受ケ面會ヲ

遂ゲ午後一時十五分退出五時再ビ來訪田畠雜談當夜

宿泊ス

(以上)

昭和十三年二月十四日接受

警務政務局

第一課 522

乙秘第四八一號 二月十日

李人植ノ行動

昨十日午後三時五十分熱海旅行先ヨリ同行人  
岡村熊人ト共ニ神田尾錦所三ノ一峡陽館飯  
宿(神奈川縣小田原市松原町)者迄查追尾ニ来リ尾  
行引継夕更クシ岡村ト談話ニ時夕移シ岡村  
ハ同九時辭シ去リ李ハ同十時四十分就寢セリ

以上



昭和十三年二月十四日接受

乙秘第四八六號

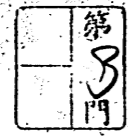
警務政務局

第一課 527

李人植ノ行動

十一日午前八時五十分外出舞町区内幸町胃腸病院ニ松本  
君平ヲ訪ヒ至十一時四十五分退出正午帰宿  
午後一時十五分三崎町ニ一安田館止宿金載坤来訪  
談話シ至二時三十五分退出  
午後三時三十分外出舞町区土手三番町二十五番地尹  
台鎮方ヲ訪問シ至七時退出飯宿シ至十時三十分  
就寢セリ

以上



明治四十三年二月十四日接受

乙秘第四九七號

警務局

二月十三日

秘受第

529

歸

李人植、行動

二十日午前九時十五分芝區慶応町一丁目大垣丈夫未訪  
全十時十五分退去ス

第3門

午後一時三十分小町より電車に乗り上野廣小路に下車し  
高田部に立寄り一時間許りにして退出夫より七軒町  
に出て同所より人か車にて本郷區駒込須嘉町六十二番  
地阿部佐太郎方へ訪問し午後八時四十分同家へ辭し  
徒歩小石川區指谷町に出て同所より電車にて南神下

保町に下車全九時十五分帰宿令十時四十分就寢ス

伊藤藤太郎氏宛

第一課

伊予通商船社の回航

明治四十三年二月十五日 警政務局

乙秘第五〇七號 二月十四日

第一課 840

李人植ノ行動

十三日午前十一時本邸尾駒込浅嘉町六十三番地阿部佐太郎来訪同人ト共ニ外出錦所ヨリ電車ニ乗リ芝居愛宕町ニテ下車シ同所ニ一四ノ見籠止宿ノ大垣丈夫ヲ訪ヒ午後零時四十五分退出シ愛宕山ニ登リ諸方ヲ遠望シ下山シテ人力車ニ乗リ日比谷公園ニテ下車シ麹所一ノ三胃腸病院入院中ノ松本君平ヲ訪

第3門

問シ同ニ時三十分退出日比谷公園ヨリ電車ニ乗リ神田橋ニテ下車シ同三時阿部ト共ニ歸宿阿部ハ同九時四十分退出李ハ同十時三十分就寝セリ

(以上)

伊予松尾藩日記

明治四十三年二月十六日接見

善政務局

第一課

582

113

七秘第五一九號

二月十五日

孝人植ノ行動

十四日午前十時外出本郷区湯島順天堂病院ニ至リ儘  
麻質斯ノ治療ヲ受テ午退途東明館ニ入り午  
後零時四十分退途帰宿ス

午後一時四十分岡村能人未訪至四時舞町区至手  
三番町手名鎮未訪至五時十分全載地未訪至  
七時十分阿部佐之郎未訪至四十分交之屋暮ソ  
戦ハシ至十時五十分三名退去ニ孝人程ヲ就

第3門

寝

上

明治四十三年二月十七日接受

し秘第五三〇號

警務局 二月十六日

第一課

559

李人植の行動

署付了

十五日午前八時本郷区浅嘉町阿部佐太郎来訪今十時  
 二十分芝愛宕町月見館止宿大垣丈夫来訪大垣  
 午後零時三十分阿部〆〆一時十五分退去〆〆程  
 ナク外出舞町区土手三番町二十五番地尹台鎮ヲ往  
 訪〆〆二時五分退去飯宿セリ  
 午後二時四十分下谷上根岸ノ岡村能人来訪今六時  
 退去〆〆今六時三十分外出散歩〆〆上野勸工場

第5門

博品館ニ入り玩具時計ヲ求テ立出テ飯途小川町  
 勸工場南明館ニ入り〆〆道ニ立出テ今八時三十分  
 飯宿〆〆今十時三十分就寝セリ

以上



第3

明治四十三年二月十七日接受

警務局

第

第一號

電報譯

二月十六日午前八時二十七分發

陸軍大臣宛

發信者

柳原

西韓地方より昨夜帰任セリ

市場税徴收、付テノ及動ハ人民税政ヲ

喜ハサル所ニ官吏徴税ノ態度因滞ナラ

サリレ故ナリ之ヲ合邦問題排日又ハ耶蘇

教徒ノ煽動ニ基クト言フハ誤ナリ

陸軍

第3門

明治四十三年二月十八日接獲  
七松第五四一號

李人植ノ行動

十六日午前八時三十分同村能人未訪午後十二時五十分  
會退去午後一時本郷區助以淺義所三三阿奇伏  
太郎方ノ訪問し同九時歸去帰宿六時五十分

警務局

二月十七日

曹野

秘受第

575

第一課

野

中

第3門

明治四十三年二月十九日接受 主務 政務局

秘第 〇三三號

秘受第

〇八一

號

第一號

伊藤 龍三 御子 内務

栗

13

16  
6

Handwritten Japanese text, likely a memorandum or official document, written in vertical columns. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side of the page.